

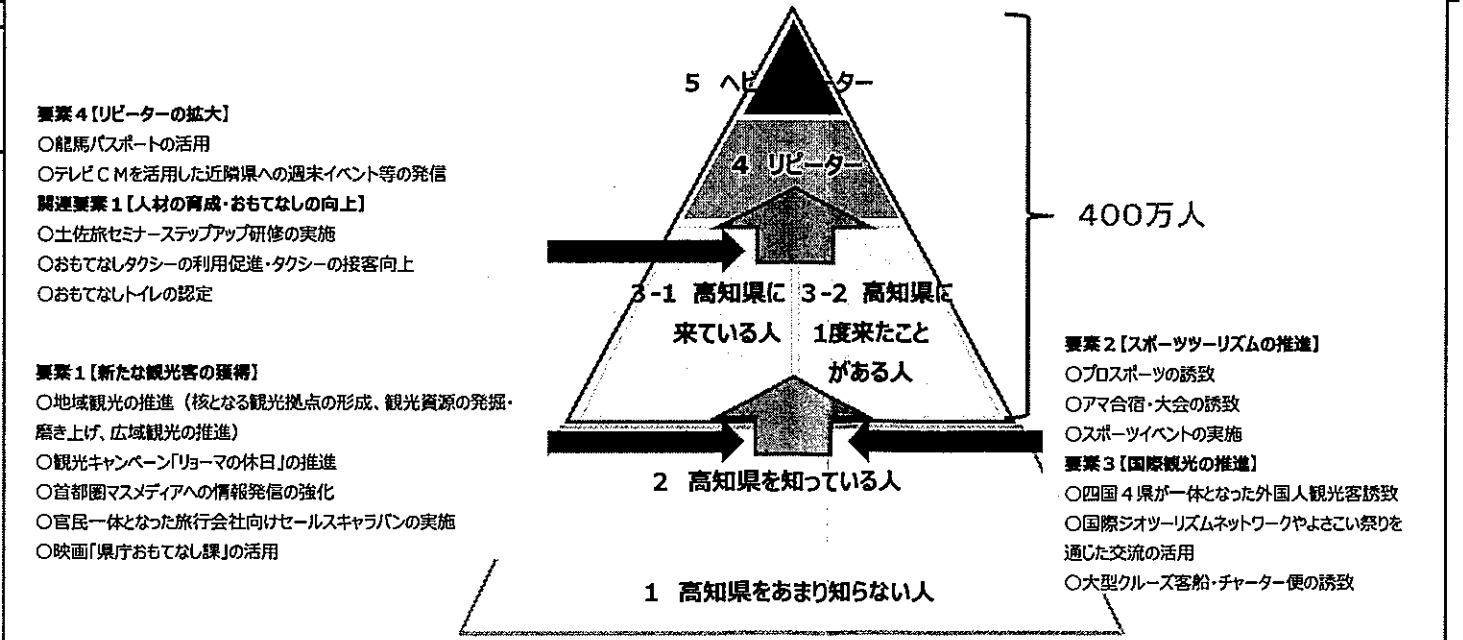
4年後・10年後の目標達成に向けた確認資料(観光分野)

【4年後(平成27年度)】

県外観光客入込数	目標設定時(H23)	直近(H24)	4年後の目標
	388万人	384万人	400万人以上
観光総消費額	953億円	1000億円	1100億円以上

4年後の目標を達成するための要素と目標			要素に対する重要な施策・取組	H25年度の到達点	現状分析	H27(4年後)に向けた検証
要素	4年後の増加目標	直近の到達状況				
県外観光客入込数	+12万人 【388万人(H23)→400万人】	H24:384万人	全国に通用する観光地づくり	+12万人 【388万人→400万人】	現時点の分析結果から、おおむね達成可能であると考えている	
要素1 新たな観光客の獲得	首都圏からの観光客数 +14.5万人 【30.5万人(H20)→45万人】	首都圏からの観光客数 H24: +18.5万人(49万人)	○地域観光の推進(核となる観光拠点の形成、観光資源の発掘・磨き上げ、広域観光の推進) ○観光キャンペーン「リョーマの休日」の推進 ○首都圏マスメディアへの情報発信の強化 ○官民一体となった旅行会社向けセールスキャラバンの実施 ○映画「県庁おもてなし課」の活用	首都圏からの観光客数 +21.5万人 【30.5万人→52万人】		
要素2 スポーツツーリズムの推進	+2万人 【H24からの新規入込数】	H24: +1.3万人(1.5万人泊)	○プロスポーツの誘致 ○アマ合宿・大会の誘致 ○スポーツイベントの実施	+1.5万人		
要素3 国際観光の推進	+1.6万人泊 【1.6万人泊(H22)→3.2万人泊】	H24: +0.2万人泊(1.9万人泊)	○四国4県が一体となった外国人観光客誘致 ○国際ジョウリズムネットワークやよさこい祭りを通じた交流の活用 ○大型クルーズ客船・チャーター便の誘致	+0.8万人泊 【1.6万人泊→2.4万人泊】		
要素4 リピーターの拡大	+15万人 【50万人(H22)→65万人】	H23: Δ9万人(41万人)	○龍馬パスポートの活用 ○テレビCMを活用した近隣県への週末イベント等の発信	+7.5万人 【50万人→57.5万人】		
関連要素 人材の育成 1 おもてなしの向上	観光客満足度 「大変良い」「良い」の割合がH22のデータを毎年上回る(H22) ・宿泊先 77% ・食事・料理店 74% ・観光施設 75% ・観光施設の美化 72% ・公共トイレの快適性 57% ・案内標識 53% ・タクシーの接客マナー 46%	観光客満足度 「大変良い」「良い」の割合(H24) ・宿泊先 78% ・食事・料理店 79% ・観光施設 78% ・観光施設の美化 73% ・公共トイレの快適性 55% ・案内標識 54% ・タクシーの接客マナー 43%	○とさ旅セミナーステップアップ研修の実施 ○おもてなしタクシーの利用促進・タクシーの接客向上 ○おもてなしトイレの認定	観光客満足度 「大変良い」「良い」の割合がH22のデータを上回る		
関連要素 2 一人当たり観光消費額の増	+2,000円(1年で一人あたりリブコイン=500円の増) 【25,459円(H20)→27,500円】	H24: 26,064円	○龍馬パスポートの活用 ○滞在時間の延長につながる体験プログラム等の充実	+2,000円 【25,459円→27,500円】		

■考慮しておくべきマイナス要素
日中関係の冷え込みを起因とした訪日旅行需要の減退



【10年後(平成33年度)】

県外観光客入込数	目標設定時(H23)	直近(H24)	10年後の目標
観光総消費額	388万人	384万人	435万人以上
	953億円	1000億円	1300億円以上

さらなる飛躍へのポイント	検討状況	戦術の方向性
世界に通用する核となる観光拠点の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・よさこい祭りの世界への発信 ・ジオパークの世界認定を契機とした国内外からの観光客誘致 ・食の強みを活かした誘客の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・海外イベントへの本県よさこいチームの派遣、海外からよさこい祭りへの招待など、よさこい祭りを通じた各国との相互交流を拡大し、外国人観光客の誘致促進を図る ・ツーリズムをテーマにした世界ジオパークネットワーク会議を定期的に開催し、相互の情報発信や人的交流を通じて観光客誘致につなげていく
三日以上滞在できる質の高い観光地づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域博覧会の開催など各地域主体による観光資源の磨き上げ・周遊及び滞在の促進 ・龍馬パスポートを活用した周遊の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・民間や地域との協働により、地域の観光資源の磨き上げを行い、観光客に高い評価を得ている高知の「食」と地域の観光資源とを連携させたプロモーションを実施する ・地域博覧会の開催など地域の主体的な取組を支援するとともに、各広域の状況に応じた観光戦略を定め、体験・滞在型観光など広域観光組織を中心とした主体的かつ自律的な観光振興を促進する
国内ハブ空港などからのアクセシビリティの向上	<ul style="list-style-type: none"> ・大型クルーズ客船の誘致 ・LCC(Low-Cost Carrier)誘致に向けた情報収集 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国内への寄港の増加が見込まれる大型クルーズ客船を誘致するため、外国クルーズ客船会社・船舶代理店へのプロモーション活動を強化する ・関西国際空港を拠点とするLCCの定期便を誘致する
県内交通アクセスの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・訪日外国人旅客を対象とした四国内の全鉄道を利用できるきっぷの販売(ALL SHIKOKU Rail Pass) ・レンタカー活用策の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道主要駅からの観光周遊バスの発着を目指す(例:MY遊バス、しまんと・あしずり号)
ヘビーリピーターの拡大(年に2回以上)	<ul style="list-style-type: none"> ・龍馬パスポートを活用したリピーターの促進 ・年間を通じた満足度調査の実施とフィードバックによる受入態勢の充実 ・スポーツ(イベント、合宿、観戦)を契機にした高知ファンの拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ・さらに魅力をアップさせた次期パスポート発行により、高知ファンの囲い込み及びヘビーリピーター化を促進する ・新たなスポーツイベントの定着・拡大を図る
観光立県としての県民意識の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ・おもてなし活動の情報発信やセミナーの開催等による県民の総おもてなし活動の推進 ・幼少期から、地域を知り郷土を愛する心を育むための環境整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・おもてなし活動の情報発信やセミナーの開催等により県民の総おもてなし活動を推進する